

キッズみんなの日記

6月号

キッズみんなの日記も連載を初めて一年が経ちました。一年間の掲載作品を読み返し、思わず笑ったり、シーンと感動したり、みんなの成長ぶりをしみじみとかみしめました。

今月は、運動会の練習に励んだこと。母の日。運動会本番のドキドキ。ゴドルテンウィークの楽しかった思い出。それぞれ、心に残る一コマを日記につづてくれました。それでは、優秀作品の紹介です。

★初級者(一・二年生)の部★

さかなつり

きのう、さかなつりにいきました。エサをかって、つりをしました。かきごとはぜをつりました。ほんとうは、きすをとりたかったです。(小一・WMさん)

何がつれたのか、何をつりたかったのか、出来事と自分の気持ちをととも上手に對比して書くことができました。出来事↓具体的な内容↓感想、という文章の構成もとても上手く、お手本にしたいですね。

母の日

わたしは、母の日におかあさんに、おとうさんとおにいちゃんとおわたしからお花をあげました。

わたしたちからのプレゼントは、かたたくきんと、こしふみけんです。おかあさんがよるこんでくれてうれしかったです。父の日はなにをあげるか、まよっています。

(小二・SRさん)

「お母さんがよるこんでくれたから」と、自分がうれしかった理由をきちんと述べられました。また、母の日の出来事から「父の日」を連想し、そのことに触れて上手にまとめましたね。うまい!

★★中級者(三・四年生)の部★★

手作りホットケーキ



「ホットケーキを作ろうか。」と、言いました。と言っても、お母さんが作るわけじゃありません。僕たちが作るんです。ざいりようをこねたり、ホットケーキをひっくりかえしたり、僕がやりました。

出来たのが三枚なので、ゆりにも一枚あげました。僕も一枚食べたので、残った一枚を半分にして食べました。外はカリカリ、中はふわふわ、とーっても美味しかったです。

また何か手作りできる物があたら、作ってみようと思います。(小一・YK君)

★★★上級者(五・六年生)の部★★★

散歩

母と、おじいちゃんの家に行きました。おじいちゃんの家は、安房勝山にあります。のこぎり山の近くです。

おじいちゃんの家に着いて、おじいちゃんと、母と、私で散歩に出かけました。散歩に出かけてしばらくすると、田んぼが広がっていました。すぐく広がったです。山も、桃の木もあって、菜の花も咲いていました。

私は、きれいだな、と思いました。とても気持ちよかったです。また、散歩に行きたいです。

(小六・IMさん)

なんと言っても、情景描写のうまさには驚きました。雄大な安房勝山の春の景色が容易に想像できずね。また、おじいちゃんの家も、地名だけではなく、みんなが知っている「のこぎりやま」を使って上手に説明してくれました。完ぺきです!

伊藤先生のおすすめ本

6月より、大好評の「伊藤先生のおすすめ本」を「梨ゼミ文庫」として貸出します。自分で、毎月本を買いそろえるのは大変だけど、塾に来たついでに借りられたら便利ですよね!

借りたい本を見つけたら、担任講師に声をかけてください!

★初級者★

こねこのぴっち 岩波書店
ハンス・フィッシャー 作/石井桃子 訳

★★中級者★★

ドリトル先生アフリカゆき 岩波少年文庫
ヒュー・ロフティング 作/井伏鱒二 訳

★★★★上級者★★★★

子鹿物語 上・中・下巻 偕成社 ローリングス 作/大久保康雄 訳



運動会があった。五月十七日。自分は、リレーの選手だ。だから、練習をかなりした。そして……本番。たくさんの声の中。始まったリレーも、もうアンカー。自分分は、二位でバトンが回ってきた。一位との差は、五メートル、抜かせるかもしれない。そして、ゴールするとき、相手より足が一步先にゴールしていた。一位でゴールした。生きていて一番かんげきし、うれしかった。

そして、一位のふだを挙げ、退場、かと思いきや、万国旗に札が引かかって少しおくれた。が、うれしかった。心の中は、この一言だけだった。「うれしい。」

(小六・ASくん)

リレーのアンカーといえば、運動会のヒーロー。しかも、二位から一位への大逆転! 頑張りました。短い文をつなぎ緊張感とスピード感も上手に表現しましたね。うれしかった気持ちを自分の言葉で素直に一杯表現しています。「生きていて一番」という表現が、バルセロナ十五輪の金メダリスト、競泳の岩崎選手のセリフを彷彿させます。S君も大物になるね、きっと!